

東北地域ものづくり企業基礎力向上セミナー

～ものづくり基礎講座（第60回技術セミナー）～

令和元年度「地域中核企業ローカルイノベーション支援事業（とうほく自動車関連部素材産業競争力強化事業）」
主催：東北経済産業局(委託事業者:㈱フィデア総合研究所) 共催：東北大学金属材料研究所産学官広域連携センター
協賛：日本金属学会東北支部

東北地域は、完成車メーカー生産拠点の展開や、関連サプライヤー等の進出もあり自動車関連産業の集積が進んでいます。こうした中、自動車関連産業への新規参入や、更なる取引拡大を目指す企業においては、激化する競争・高度化する顧客からの要求に対応していくため、これまで以上に技術力と競争力の向上が求められています。そのためには、高度な知識を得るだけでなく、現場における、様々な課題を解決していくことも重要となります。

特に、金属プレス、それに係る金型、表面処理等についての課題がある、との声が企業の皆様から複数寄せられています。

そこで、自動車関連産業をはじめとする、ものづくり企業の皆様の技術力と競争力の向上に資するため、金属材料・プロセス技術が専門の講師による、ご講演で構成する技術セミナーを開催します。

テーマ 自動車用材料とプロセス技術

日時 令和元年10月21日(月) 14:00～17:00

場所 東北大学 金属材料研究所 講堂(片平キャンパス 宮城県仙台市青葉区片平2-1-1)

参加費 無料

申込み 別紙申込書にて、EメールまたはFAXでお申し込みください。 ※定員50名

内容

14:00～	主催者挨拶
14:05	東北経済産業局地域経済部自動車・航空機産業室長 的場透
14:05～	東北大学金属材料研究所産学官広域連携センターのご紹介
14:20	東北大学金属材料研究所 教授 正橋直哉氏
14:20～	講演1:「自動車用金属材料の基礎」
15:00	東北大学金属材料研究所 教授 正橋直哉氏
(5分～10分)	質疑応答
15:10～	講演2:「車体のマルチマテリアル化とその要素技術」
15:50	マツダ株式会社 技術研究所 革新研究創成部門 杉本幸弘氏
(5分～10分)	質疑応答・休憩
16:10～	講演3:「激変する自動車産業とモノづくりへの挑戦」
16:50	トヨタ自動車株式会社 素形材技術部 第2ダイキャスト技術室 須田智和氏
(5分～10分)	質疑応答
17:00	閉会挨拶 東北大学金属材料研究所 教授 正橋直哉氏
17:15～	懇親会

講師紹介



東北大学金属材料研究所
教授 正橋直哉氏

略歴:1987年東北大学大学院工学研究科博士後期課程修了(工学博士)
同年(株)新日本製鐵に入社、チタン・鉄鋼・半導体・シリコンの研究開発に従事。
1993-1995年ケンブリッジ大学客員研究員として日英国際協同プロジェクト参加。1995年(株)新日本製鐵先端科学研究所主任研究員、1999年東北大学金属材料研究所助教授、2006年より同教授。専門は金属組織学で、要素技術は相平衡や拡散を利用した組織制御・表面改質・接合など。現在は二酸化チタン光触媒、接合、表面制御などの研究を通して、産学官連携活動に従事。



マツダ株式会社
技術研究所 革新研究創成部門 杉本幸弘氏

略歴:1978年、京都大学工学部冶金学科卒業、同年4月に日本アルミニウム工業株式会社入社。1982年、マツダ株式会社入社、技術研究所材料研究部門で自動車用金属材料および成形加工技術の研究開発に従事。先進車両構造研究部門を経て、2013年に革新研究創成部門に異動、現在はNEDO委託事業「革新的新構造材料等研究開発」のテーマリーダーとして車体のマルチマテリアル化を実現するための要素技術開発に従事。



トヨタ自動車株式会社
素形材技術部 第2ダイキャスト技術室 須田智和氏

略歴:2001年東北大学大学院工学研究科修士課程修了
同年トヨタ自動車(株)に入社
生産技術領域へ配属し、エンジン用鋳造部品の生産準備に従事。量産ラインをグローバル展開するとともに、製品機能の向上と環境に優しい生産技術を両立させた工法開発を産学官と連携して量産化。2013年にユニット系素形材技術の企画部署へ異動、2015年より製造工場の課長を経験して新工法のグローバル展開を推進。2019年より駆動・HV用ダイキャスト部品の生産準備と競争力向上のための活動に従事。